

古塩まさよし

後援会だより

Vol.1 2017年

〒252-1124 綾瀬市吉岡 3344
http://www.m-koshio-ayase.jp
Email:kik.koshio124@jcom.zaq.ne.jp



活力と魅力に満ちた 綾瀬をつくる

「5つの政策」今年度の事業

古塩 政由

市民の皆様のご支援を得て市長に就任してから、早くも11カ月が過ぎようとしています。この間、その責任の重さを感じながらも順調に市政を運営してまいりました。これも後援会の皆様のお陰と、心から感謝申し上げます。

私にとって初めての予算編成は公約で掲げた「5つの政策」を柱に行いました。29年度予算は、昨年度当初予算にくらべて、全会計で3.6%減の505億200万円となっております。

予算規模こそ縮小していますが、予算編成では職員が私の意を酌み、議論と検討を重ね、様々なアイデアを出し合いました。

10年後、20年後の綾瀬の将来を見据えたまちの骨格

を作り上げるための、積極的な予算を編成することができたと思います。

1都市づくり

綾瀬スマートインターチェンジの設置を核に、東名綾瀬バス停でのパーク&バスライドの整備や企業誘致の受け皿となる工業系新市街地の確保を進めます。インターは、用地取得の契約が未完了のため、開通が遅れることとなりました。

2産業の活性化

工業振興では、県内4位の製造業の集積と技術力を活かして「made in Ayase」製品の商品化を進めるとともに、綾瀬工業データベースを活用して市外企業からの受注拡大を図ります。また、市内中小企業の若手社

員定着とネットワーク構築を図るために、4月13日には「綾瀬工場・合同入社式」を開催しました。

次は農業振興。朝採りの新鮮な野菜は知名度が上がリ、今後は綾瀬産のブランド化を図ります。また市役所北側に地域振興施設を整備し、地場農産物の販路拡大を目指します。

商業観光では、映画やドラマの撮影実績を生かして、ロケ地を新たな観光資源として整備するとともに、綾瀬初のご当地グルメ「とんすきメンチ」の販路を拡大していきます。

3地域福祉社会の実現

10月1日に福祉、介護、保健の連携拠点である「保健福祉プラザ」が開所します。また、高齢者が住み慣れた地域で生活できるように医療、介護、予防、生活支援サービスを提供する「地域包括ケアシステム」を確立します。

併せて元気な高齢者が活躍できる仕組みを作り、就業の支援や社会参加を促す

施策を展開します。

4子ども・女性政策

子育て支援の充実を図るために、小児医療費助成の対象を中学卒業までに拡大するとともに、子育て用品購入への助成、幼児二人同乗自転車の無料貸し出しを実施します。

教育では、県内で初めて少人数学級を小学4年生まで拡充するほか、絵本を保育所などに配本し、「読み聞かせ」を促進します。

また女性の活躍を推進するため資格取得を支援するとともに、「ものづくり」現場の魅力を女性に向けて発信します。

5都市の質の向上

熊本地震を教訓に、市内の物流センターと、救援物資等の集積、仕分け、配送等を行うための協定を5月29日に結びました。さらに、車中泊避難者への対策用品を整備していきます。

浸水対策として小園・落合地区の整備が今年度中に完成します。老朽化した消

御挨拶……自覚……



古塩まさよし後援会
会長 近藤 巨

後援会たよりの発刊にあたり、御挨拶申し上げます。

永六輔氏が「生きていく」ということは、誰かに借りを作ることは、生きていくこととは、その借りを返していくこと」と言っています。

私は、勤め人当時、地域住民として「生きていく」だけでした。退職後は、寺尾自治会役員として、更には綾瀬市社会福祉協議会会長として、関係者の皆さんの御理解とご協力の元、無事活動することができ、お陰様で地域住民として「生きていく」ことができたものと思っております。そして「小器我れ凡器を抱きて安らかに生く」と考えておりました。

しかしながら、当時の古塩副市長とは、年に数回個人的なお付き合いがあり、また、笠間前市長とは、小中高校の同級生でありま

す。このような関係、更には諸要請もあり、後援会会長をお引き受けいたしました。

古塩市長は、①スマートインターチェンジを最大限活用する都市づくり ②小児医療費助成の中学生までの対象年齢の拡大、貧困の連鎖防止のための中学生への学習支援などの子ども女性政策 ③元氣な高齢者が地域社会で活躍できる仕組みづくり等々、「活力と魅力に満ちた綾瀬」づくりに積極的に取り組んでおり、心から信頼できる市長が誕生したものと思っております。

小器、凡器の私ではあります。皆様には、これからも古塩まさよし後援会に對しまして、ご支援、ご協力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

↓表面からの続き

防本部庁舎建設も31年度完成を目指して進めます。

また、蟹ヶ谷公園を桜の名所に、光綾公園では野球場改修とバラ園の拡充を、また神崎遺跡公園は30年度

に全面開園を目指します。

こうした事業をとおし、綾瀬を未来に向けて「躍進」させていきます。今年度予算はその第一歩です。

これを足場として着実に進め、「活力と魅力に満ちた綾瀬」を作り上げるために、努力してまいります。

ご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

後援会 活動報告

◎新春の集い

古塩まさよし後援会主催「新春の集い」が3月4日、オーエンス文化会館小ホールで開催されました。450人を超える多くの方々が参集され、賑やかな会となりました。



◎支部長会開催

支部長会が5月29日開かれ、6月25日開催予定の「古塩まさよし 市政報告会」開催準備等について話し合われました。



& VILLAGE (大上)にて開催

◎今後の予定

- ☆平成29年
 - 古塩まさよし「市政報告会」
 - 日時：6月25日(日) 14時～16時
 - 場所：綾瀬市オーエンス文化会館 小ホール
- ☆平成30年
 - 古塩まさよし「新春の集い」
 - 日時：1月21日(日) 14時30分～16時30分 (受付14時)
 - 場所：綾瀬市オーエンス文化会館 大ホール・小ホール